



ふれあい

2013年7月
現在の会員数
男性 1,308名
女性 503名
合計 1,811名

2013年/7月
138号

題字 府中市長 高野律雄 書

公益社団法人府中市シルバー人材センター発行/府中市寿町3-2 ふれあい会館2F/TEL042-366-2322



第64回定時総会開催(ふるさとホール)



会員表彰

●目次

- 平成25年度「第64回定時総会」 …… 2
- 就業会員表彰・退任役員表彰 …… 2
- 新会長就任のあいさつ …… 3
- 前会長退任のあいさつ …… 3
- 多摩川ボランティア清掃 …… 4
- 働く会員の職場訪問 …… 4
- 自転車教室と競技大会の開催 …… 4
- センターホームページの近況 …… 5
- 班長・役員・地域委員合同会議 …… 6
- 新ワークランチの紹介 …… 6
- 新体制でスタート …… 7
- シルバー俳句・編集後記 …… 7

平成25年度「第64回定時総会」

第64回定時総会が6月20日(木)午後1時より府中の森芸術劇場ふるさとホールに於いて開催されました。

本間会長のあいさつに続き高野律雄府中市長、遠田宗雄市議会厚生委員会委員長、小山有彦都議会議員皆様の祝辞を頂きました。その後本間会長が議長となり、西隈副会長より定足数の報告があり出席者463名、委任状936名、合計1,399名により総会議案の議事が進行されました。

市川監事からの監査報告があり、渋谷常務理事より「総会議事運営規則の制定」(案)、平成24年度「決算の承認について」、小林理事より「事業実施報告」の説明があり賛成多数により原案の通り可決されました。次に「役員」の選任の承認について

「本定時総会終結と同時に任期満了となる役員に代り、4月17日開催の平成25年度第1回理事会において議決されました。理事候補者13名、監事候補者2名が登壇し、賛成多数の拍手により承認されました。

棟方理事より「平成25年度事業計画」について、渋谷常務理事より「平成25年度収支予算書」について報告があり賛成多数の拍手により了承され、本定時総会における議決・報告事項はすべて終了し、第64回定時総会は終了しました。

引き続き、当センター事業に功労がありました皆様の顕彰が行われ、「10年就業会員の表彰」受賞者46名を代表して矢田部一美様、青木絹代様が登壇し本間会長より表彰状の授与がありました。

た。

次に公益財団法人東京しごと財団から本間会長・竹内理事・北村監事への感謝状の伝達がありました。

次に役員表彰に移り、長年センターの発展に尽力し、当日をもって退任される役員の本間会長・西隈副会長・丸山理事・黒川理事・竹内理事・三坂理事・田中理事・北村監事の8名が表彰され閉会となりました。



新役員の紹介

10年就業の

会員・職員表彰 退任役員表彰

東京しごと財団表彰

本間幸男 竹内初子 北村義彦

役員表彰

本間幸男 西隈邦彦 黒川京三
竹内初子 田中和美 丸山俊輔
三坂益路 北村義彦

会員表彰

青木絹代 赤羽ノリ子 荒川和朝
今井久世 石橋長七 伊藤市男
伊藤博之 遠藤みき子 今井房子
岩切皓治 岩本智交 香川勝志
大村郁雄 岡田和恵 小澤貞夫
坂本和壽 菊地洋一 今野健司
白根稔枝 鈴木キミ 佐藤隆
澤村一男 高橋高夫 田中道明
仙北谷勲 高田正夫 内藤龍夫
中塩秀男 角田さか多 外山正雄
野村武夫 久田 暁 二関美沙子
野澤セツ 間橋昌弘 三重野喜代子
藤本泰男 細田 勇 谷田部一美
山田貞子 村越佳子 森 八郎
渡邊宜信 吉村正義 渡邊 章
有福寿夫

職員表彰

伊澤雅貴 小谷田洋平

(敬称略)

新会長就任のごあいさつ センターの健全なる発展を



棟方鷹揚

平成18年1月センターへ入会して
班長2年、理事4年3ヶ月を務め
てまいりました。

センターの基本理念であります
自主・自立・共働・共助のもと、会
員の皆様の絶え間ないご努力によ
り築かれました36年の優れた実績
を受け継ぎ、会員・役員の皆様の
ご理解、ご協力を頂きながら、セ
ンターの健全なる発展に誠心誠意
その職責を果たして参りますの
で、どうぞよろしくお願いいたしま
す。

少子高齢化が進み、センターを
取り巻く雇用情勢は日増しに厳
しい状況にあります。地域社会
を支える担い手として健康で働く
意欲を持った会員が就業を通じ
て、長年にわたる経験、知識、技
術、技能を安全にかつ丁寧に、正
確に責任感をもって高品質なサー
ビスを提供し、お客様と地域から

信頼され、地域の経済に生活文化
に寄与し、地域社会になくはな
らない存在になることと、生涯現
役を目指す会員自らの「生きがい」
「健康」「喜び」の拠点となる役割
を果たしていかねばなりません。

6月21日から新たにスタートし
ます役員、組織体制のもと、事務
局との連携をより密にし、情報を
共有しあい、会員相互の対話と理
解、連帯意識、個の力の向上を高
め、第二次長・中期見直し計画の
目標の推進と実現に、会員・役員・
職員が一体となり英知を出し合
い、任期の2年間をセンターの事業
運営に活力をもつて取り組んで参
りますので、会員の皆様の変わり
ぬご指導ご支援を切にお願い申し
上げ、会長就任のごあいさつとい
たします。

前会長退任のごあいさつ 長い間の協力に感謝します



本間幸男

6年間、会長の重責を務めさせ
ていただきましたが、これまで会員

皆様から、賜りましたご支援、ご
協力に深く感謝申し上げます。

この間、先の見えない長い景気の
低迷に加えて、不安定な政治情勢
で、二度にわたつて、政権の交代が
ありました。また、新しい公益法
人改革法に基づく、公益社団法人
への衣替えなど、課題の多い時期で
ございました。

特に、高齢化社会を迎え、シルバ
ー事業の果たす役割りは、大変重
要であると言われながら、思いも
よらず、国のシルバー事業の事業仕
分けにあり、大幅な国庫補助金の
カットで、苦しい財政運営を強いら
れました。

公益社団法人への移行にしても、
会計制度上の収支相償の問題や
会員互助事業への援助措置の禁止
など、社会一般の社団・財団法人
と同じレベル、同じ法律でシルバ
ー人材センターを規制することに無
理があることを訴え、できるだけ
移行の時期を先延ばすことを試み
ましたが、それも果たせず、残念
ながら、今のところ一向に法律改
正の動きも無いのが現状でありま
す。

私は、健康で元気に働く意欲の
ある高齢者の最後の砦と言われる
シルバー事業の運営に当たつては、

終始一貫、会員の利益優先、明る
く楽しく、会員皆様が働きやすい
環境を整えることをモットーに取
り組んで来たつもりでありませ
んが、必ずしも、その実現がかなわ
なかったことは、私の不徳の致す
ところであり、ご容赦いただきたいと
存じます。

シルバー事業には、なお様々な問
題、課題が山積しております。

ますます進む高齢化社会にあつ
て、シルバー事業の存在は、大変大
きくなることは間違いありませ
ん。

先般、国民栄誉賞に輝くあのミ
スタージャイアンツ長嶋茂雄さん
は、「わが巨人軍は永久に不滅で
す」と言われたように、永遠とまで
は言わないまでも、我が府中市シル
バー人材センターはこの先、長く続
くことは間違いありません。

幸い、この定時総会で、当センタ
ーの今後の事業運営を担う役員
として、優れた人材が選任されま
したので、会員皆さんが一致協力
し、当センターがますます発展さ
れますようお祈り申し上げます
で、退任に当たつてのご挨拶とい
たします。

長い間、ご協力誠にありがとう
ございました。

恒例の多摩川 ボランティア清掃

4月14日(日)恒例の多摩川清掃が行われました。

当シルバー人材センターは総合体育館南の多摩川土手に8時45分集合し、記念写真を撮り、係からの指示で3名1組になり河原に下りて清掃を開始しました。

町内会や学校、サッカーのクラブなど多くの団体、個人が参加していたので、土手の周りや草むらは、すでに清掃されていてゴミを探すのも苦労するほどでした。



ところが、堰となっているコンクリートの場所に行くと、水で流されてきたビニール袋や布類、プラゴミがたくさんあり、岩に挟まって取れない大きな布きれをカッターで切って除去して、持っていたゴミ収集用袋がすぐにいっぱいになりました。
30分間の活動はアツと言う間に終了しました。当センター会員は110名の参加でした。

自転車安全教室と 競技大会を開催

新緑映える4月23日(火)、自転車安全教室が府中警察署の指導のもと、JR第1駐車場で開催されました。これは会員の自転車走行規則の遵守や自転車安全運転技能の維持向上を目的にした実地研修で、自転車安全利用に関心の高い40余名が参加しました。

初めに府中署の指導員から研修の目的、注意ポイントについての説明を受け、事前に設置されたスタート地点をはじめ踏切・S字カーブ等8つのポイントの訓練コースを全員が順番に走行しました。

「次回は是非優勝してほしい」との本間会長の切実なあいさつで教室は終わりました。

働く会員の職場訪問 府中市教育センター

5月19日(日)午後、教育センターを訪れました。取材のため重松さん、阿部さん、吉田さん3名が集合していただき1時間ほど歓談しました。皆様大変お元気でご活躍の様子でした。

教育センターは主として教育委員会、教務主任会、生活指導主任会、進路指導主任会、社会科副読本編集委員会が会合を持つ場所です、そのほか府中市関連のいろいろな団体、中学生の研修会、PTA関係会議、先生達の会議なども無料で利用できて一部屋30名収容可能が4室あり活用の道は多いようです。

就業体系は毎日交代で一人ずつ17時〜21時、土日は会議があるときだけ会議開催時間中、それぞれ

また、5月18日(土)午前10時30分より府中第1中学校校庭に於いて「高齢者と小学生の自転車安全競技大会」が行われ、市内小学校

勤務して、部屋の鍵貸し出し業務を担当しています。

就業時間は夜9時までが原則ですが、場合によっては10時になる事もあるとのこと、健康で働く喜びを大いに感じて就業をしていると笑顔で話しておられました。



より15チーム、市内地域コミュニティより11チーム、シルバー人材チームより2チームが参加しました。主催は府中警察署、府中市、府中

交通安全協会でした。
 府中市長あいさつに始まり府中警察署署長、府中交通安全協会会長の来賓の紹介がありました。
 府中警察交通係長の競技進行方法等の説明があり、いよいよ競技が始まりました。
 全体のコース設定が昨年より難しくなっているようでした。例えば自転車の通行車幅が狭くなったり、交差点の停車個所の数が多くなっていたり、自転車の事故防止に通ずるマナーに重点を置いた競技であると感じました。
 我がシルバー人材Aチームは西隈邦彦、建道衛、丸山俊輔、和田道夫、佐藤隆、沼崎薫、西田保男、Bチームは田中伸生、和知光儀、



中野常紀、小泉榮治、小林敏彦、宮崎紘一、荻野晃(敬称略)の14名でした。
 実技終了後にペーパーテストがあり、Aチーム7人全員で解答を出すことにより全員のコミュニケーションをとる事が出来ました。
 その結果はAチームは3位に、Bチームは4位に入賞いたしました。個人賞はAチームの和田道夫氏が6位に入賞いたしました。入賞する事により皆笑顔で終了する事ができました。

センターホームページを活用しましょう

当センターのホームページを公開して、もう14年が経ちました。その間に、パソコンや電子機器はどんどん進化し、60歳以上の人でもパソコン保有率は2012年度の総務省統計で55%を越えました。当センター会員の保有率もずいぶん高まってきたことと思います。

またスマートフォンなどの携帯機器も日常の生活に浸透して、刻々と保有率が増えているようです。
 センターのホームページは、市民の方などお客様が利用するページと会員のためのページの二つにはっきりと分かれております。
 お客様向けのページは、どんな仕事を、どのようにまた、どのくらいで引き受けるのか、職群仕事を一つ一つ丁寧に紹介しています。30近い職群の仕事をわかりやすく、使いやすく工夫して作成してあります。

一方会員向けのページでは、会員

のための仕事情報はもちろん、広報紙ふれあい、事務局の紹介、理事会ニュースや委員会のスケジュールなど公開されており、だれでも簡単に閲覧することができます。

また、ご覧になっていない方は、ぜひ当センターホームページをご覧ください。ただあればありがたいと思っております。きつとお役に立つと思いません。

なお、パソコン職群のメンバーはいつでもパソコンの相談にのっておりますので、気軽に声をかけてみましょう。

小柳町に移転した 新ワークブラランチの紹介

府中市のご支援・ご協力により、今年の4月から小柳町に移転したワークブラランチを訪問しました。

ワークブラランチは四つの職場あります。ふすま・障子張り作業班、草刈り機などのメンテナンス・運搬班、植木作業のはしご・脚立や残材を運搬する運搬班、事務局との連絡や構内の管理などをおこなう事務所があります。

ふすま・障子張り作業班は6名



が2組に分かれて1週間ごとに交代で作業します。平均年齢は70歳位です。

この作業班では、お客様との折衝、見積り、張替え作業、引き取りと納入などをおこないます。新人は技能取得のため、飯田橋のごと財団で講習を受けてから、作業を始めるそうです。



搬班は6名が2組に分かれ、交替で作業します。年齢は70〜75歳位で長い人は8年作業しています。刈払機は45台あります。また、バロネスという幅が1メートルくらいある自走式機械は11台あります。これだけの機械を保有するセンターは

少ないそうです。府中は公園が多く、多摩川の河原があるので、このような規模になったそうです。当初機械の修理は専門業者に出していたのですが、時間の制約から、行うようになりまし。草刈り作業をする方たちが安心して仕事ができるように、特に刃こぼれは、注意深く整備しています。

運搬班は10名が2名で組んで作業します。平均年齢は68歳位で、5月現在は週1〜2回の作業ですが、7〜12月は忙しくなるそうです。はしご、脚立、残材を運ぶ車はトラック、2トンダンプ、軽ダンプで、運搬量の多寡により、使い分けられています。

ワークブラランチに常駐する事務所は2名が交代で行います。前記三つの職場と事務局との連絡役となり、事務局からの電話を受けて、連絡伝票を作成し、それぞれの職場に渡します。ほかに施設内の管理や光熱水関係の点検も行います。

いずれの職場も70歳前後の高齢にもかかわらず、みなさん生き生きと仕事をこなしているのを拝見しました。

班長・役員 地域委員会合同会議

6月3日(月)ふれあい会館に於いて開催されました。本間会長あいさつの後、渋谷局長から第64回定時総会開催の議題と議案、平成24年度の事業報告並びに決算承認への説明がなされ、25年度の役員改選と事業計画及び収支予算についての説明がありました。

今年度のセンター地域活動に関する運営方針案としてはボランティア活動、センター主催事業や行事への積極参加と地域懇談会の進め方などが話し合われ、情報交換や質疑応答の後に西隈副会長の閉会のあいさつで終わりました。



新体制でスタート

役員の改選に伴い、理事、監事、委員会が新たなスタートを切りました。

なお、今年度は5委員会編成となりました。

◎理事(13名)・監事(2名)

会長 棟方 鷹揚(宮西町)

副会長 小林 敏彦(新町)

常務理事 渋谷 彰(押立町)

宮澤 洋(若松町)

山口 弘美(南町)

芝原 央充(浅間町)

近藤 敦(新町)

倉地 眞弓(住吉町)

徳田 豊彦(美好町)

田嶋 淳(白糸台)

智田 悦子(武蔵台)

松本 基男(西府町)

澤村 一男(若松町)

監事 市川 泰三(晴見町)

和田 道夫(分梅町)

◎総務委員会(6名)

委員長 宮澤 洋(若松町)

副委員長 山口 弘美(南町)

久保田 昌広(本宿町)

瀬谷 周二(美好町)

島田 榮一(若松町)
風岡 和子(分梅町)

◎業務委員会(9名)

委員長 芝原 央充(浅間町)

副委員長 近藤 敦(新町)

倉地 眞弓(住吉町)

稲葉 邦江(寿町)

日下 優子(宮西町)

齋藤 誠(栄町)

佐野 義信(押立町)

山本 久雄(西府町)

橋本 正之(晴見町)

◎広報委員会(8名)

委員長 徳田 豊彦(美好町)

副委員長 青柳 奎吾(本宿町)

吉田和二郎(浅間町)

坂本 清身(栄町)

宇山 治男(四谷)

鏡 陽次(四谷)

芝辻 克己(矢崎町)

萬代 慶昭(四谷)

◎地域委員会(14名)

委員長 田嶋 淳(白糸台)

副委員長 松本 基男(西府町)

智田 悦子(武蔵台)

橋本 征夫(紅葉丘)

関口 利夫(押立町)

宮坂 勝男(是政)

芝辻 昌三(本町)
野澤 栄一(八幡町)
澁澤 伸泰(美好町)
出口 明(浅間町)
熊沢 孝義(西府町)
圖師 征尋(北山町)
笹川 雄司(南町)
林崎 健(四谷)

◎安全委員会(7名)

委員長 澤村 一男(若松町)

副委員長 西田 保男(押立町)

藤本 勝幸(押立町)

小場いゑ子(朝日町)

荒木 正光(分梅町)

中野 常紀(浅間町)

川合 孝二(指導員)

(敬称略)

任期は平成25年6月21日から平成27年定時総会迄です。

臨時職員採用

4月1日付で事務局の臨時職員に採用されました。よろしく願っています。



トキタ 嶋田 理恵さん

■シルバー俳句

芽吹き時 一枚脱いで 旅に出る
風光る 飼い主見上げ 笑う犬
散る花に 幼児手を伸べ 舞い歩く
安倍 将

細腕の なりはいと する かき氷
葛切りや 尼僧ぶらりと 昼下がり
稚拙なる 文字でいんと 走馬燈
おかえりと 卓袱台にある 柏餅
向日葵の 雌しべを外す ゲーツかな
岡 莞弥
(会員からの川柳・俳句と募集しています)

編集後記

巻頭「第64回定時総会」の注目点は新事業計画プラス新旧役員交代時期の到来です。旧役員への労いと感謝、新役員のご活躍を期待し、併せて、10年就業会員表彰の皆様は誠におめでとうございます。

本号では初めて、待望の「新ワークプランチ」をご紹介します。また、ホームページに関心を寄せるセンター会員向けに、世相を伝える近況報告を掲載いたしております。

(広報委員会 三坂)



高野府中市長の祝辞



退任役員の表彰



会員の表彰(谷田部さん)



会員の表彰(青木さん)



班長・役員・地域委員合同会議



自転車競技大会



片町地域ボランティア清掃



自転車安全教室